

参 考 手 本

翰かんを染そめて 聊いささか壁かへきに題だいす

高 木 聖 雨 先生



※これは規定課題ではありません。

参 考 手 本

翰かんを染そめて 聊いささか壁かへきに題だいす

高 木 聖 雨 先 生



※これは規定課題ではありません。

# 条幅かな

# 条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)  
B部 (四段~準三段)

さしのぼる朝日の光ふかみつつはやけぶりたつをちこちの浪 (若山牧水)

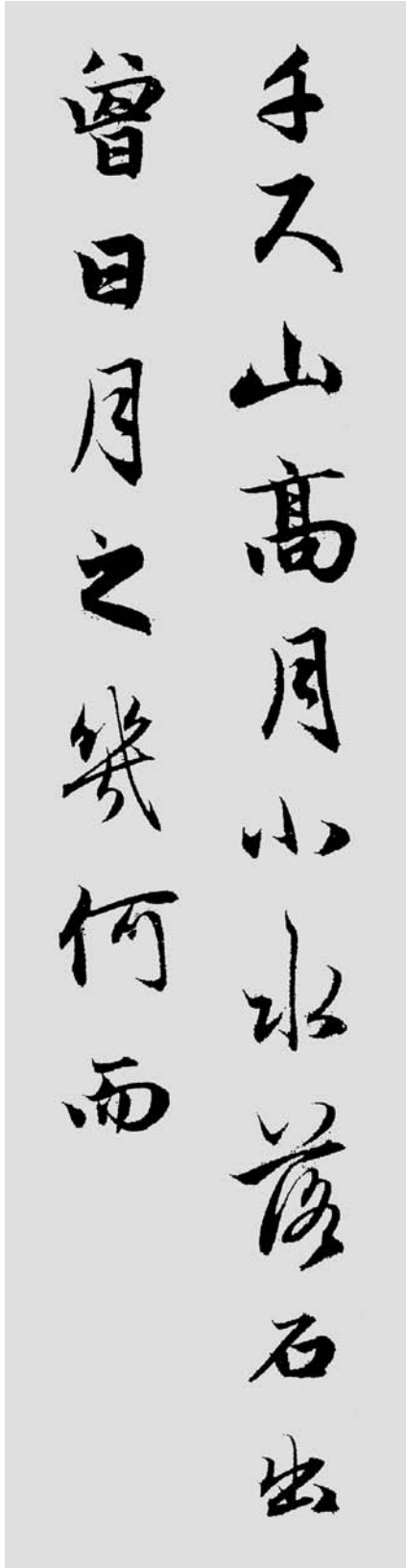
※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。



前後赤壁賦 (元・趙孟頫)

千尺山高月小水落石出曾日月之幾何而

浮 乗 清 郷 先 生



道因法師碑 (唐・歐陽 通)

西邁避地三蜀居于成都多寶之寺而靈關之



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(10月10日締切)

半紙規定 (一)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書  
〔二級以下〕楷書

蕤いずい・繁はん・祉し、  
雲うん・氏し・龍りゆう・官くわん

蕤繁祉雲氏

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(10月10日締切)

半紙規定(二)

曹全碑(漢・作者不詳)



在為雄君高

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

所在に雄たり・君の高祖父敏は

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(10月10日締切)

条幅参考手本

郭外迎人月湖邊醒酒風誰  
留使君飲紅燭在舟中

高橋秀翠先生

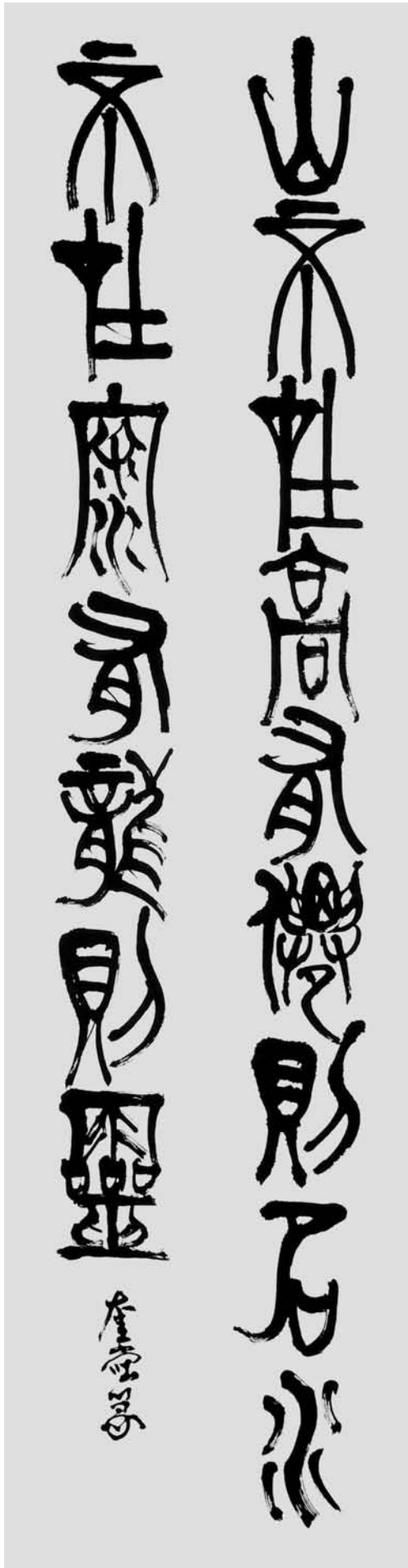
郭外迎人月 湖邊醒酒風 誰留使君飲 紅燭在舟中  
郭外人を迎ふる月 湖辺酒を醒ます風 誰か使君を留めて飲ましむる 紅燭舟中に在り

江川玉堂先生

清景芳菊を持し 涼天茂松に倚る 名山何ぞ必ずしも去らん 此の地羣峰あり

清景芳菊を持し 涼天茂松に倚る 名山何ぞ必ずしも去らん 此の地羣峰あり

条幅参考手本



田中奎堂先生

山不在高 有僊則名 水不在深 有龍則靈  
 山は高きに在らず 僊有れば則ち名あり 水は深きに在らず 龍有れば則ち靈なり

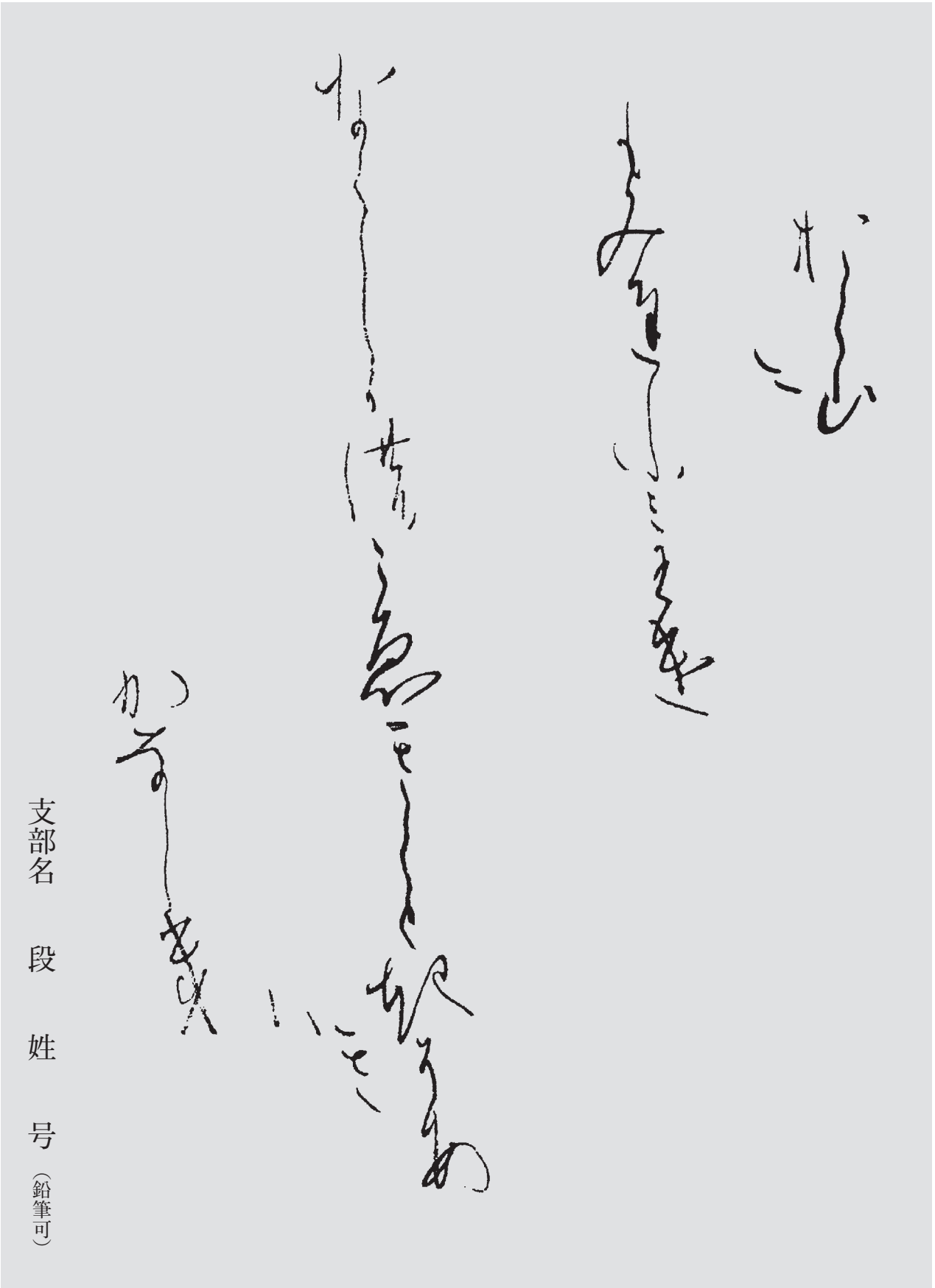
塚田悠碩先生



人は信頼されればそれに応えようとするもの信頼してだまされるならそれも本望

半紙かな（初段以上）

奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の声きくときぞ秋はかなしき（猿丸太夫）



支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

※ちらし文字変換は自由

浮 乗 清 郷 先 生

(10月10日締切)



半紙かな（1級～8級）

天高し雲行く方に我もゆく（高浜虚子）

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

Handwritten calligraphy of the poem: 天高し雲行く方に我もゆく

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

若月久美子先生

（10月10日締切）

実用文（準三段以上）

一日、私は運河めぐりをすすめられて同行の人達とこれに参加した。船に乗ったあたりは、地図を按ずるとどうも呉橋と言われる西北隅の町はずれらしかったが。（江南遊より）

一日、私は運河めぐりをすすめられて同行の人達とこれに参加した。船に乗ったあたりは、地図を按ずるとどうも呉橋と言われる西北隅の町はずれらしかったが。江南遊より

大井岳陵先生

（10月10日締切）

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

相傘の中をへだたする水たまり・工

三丁出てから夫婦連になり・這え

ば立て立てば歩めり親心・碁がた

きは増さむにくしながらかしき

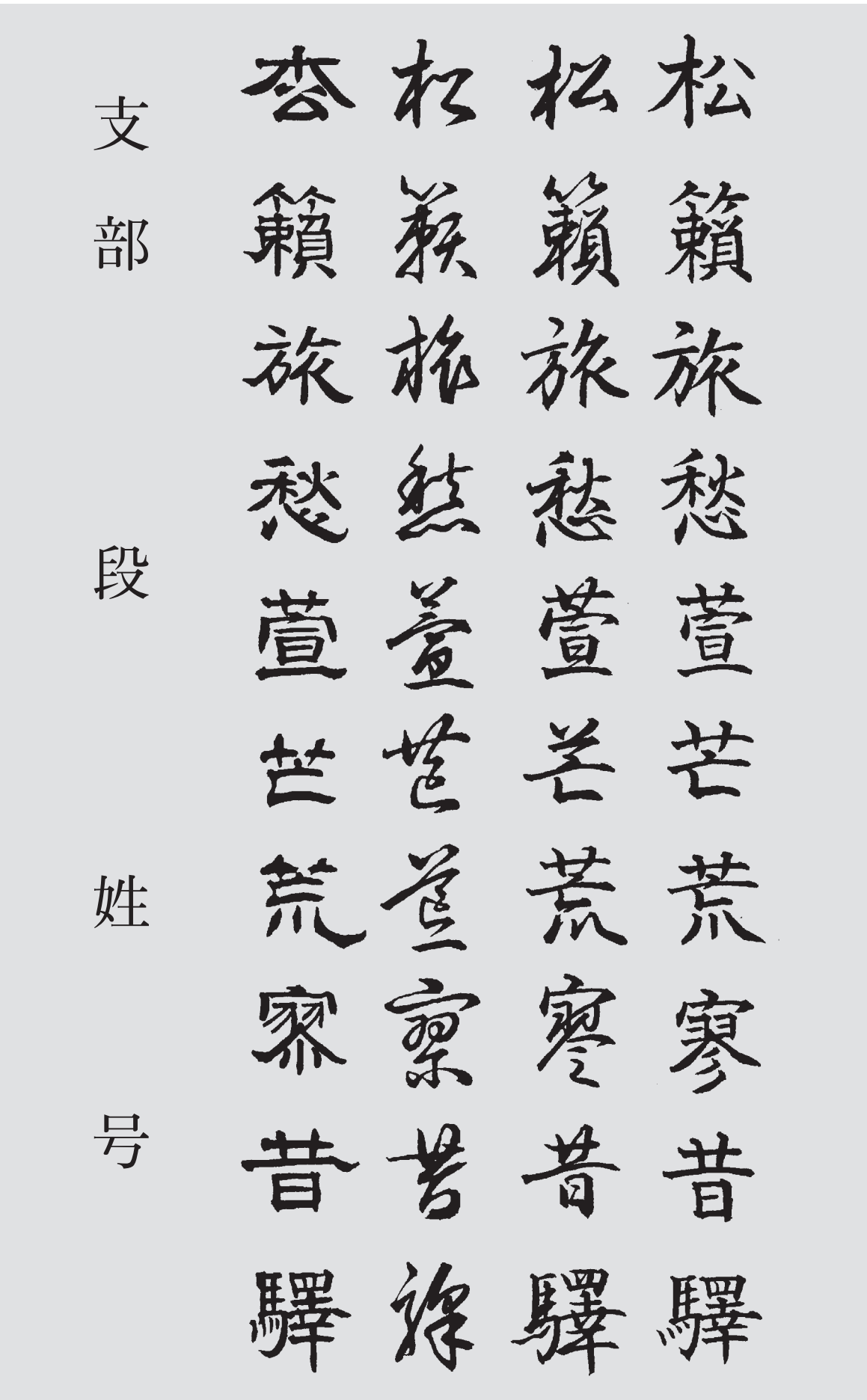
江戸川柳から

支部 段・級 姓号

久保田 悠山 先生

(10月10日締切)

細 字



支部

段

姓

号

松 松 松 松  
 籟 籟 籟 籟  
 旅 旅 旅 旅  
 愁 愁 愁 愁  
 萱 萱 萱 萱  
 芒 芒 芒 芒  
 荒 荒 荒 荒  
 寥 寥 寥 寥  
 昔 昔 昔 昔  
 驛 驛 驛 驛

※一級〜八級は草書まで。初段以上は隸書まで。

松しょう 籟さい  
 萱せん 芒ぼう  
 松風の音。  
 かや、すすき。

荒こう 寥りょう  
 荒れはてて淋しい。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

# 硬筆（初段以上）

秋の夕暮。日が落ちると、とたんに空気が強まって七びしくなる。公園から聞くこえ  
ていた子ども達の声も途絶え、各戸の灯が  
明るさを増して人恋しい暮分に籠われ  
家路を急ぐ人々の姿が目にとまる。

支那ふ 海 娃 号

本院定型用紙一枚に書く

青柳江雲先生

(10月10日締切)

硬筆（4級以下）

硬筆（1級～3級）

本院定型用紙・たて半分に書く

曹洞宗の禅僧である良寛は、出雲崎町の名主、橘屋の長男として誕生す。

支部名

級

姓

号

齊藤 翡翠 流 先生

曹洞宗の禅僧である良寛は、出雲崎町の名主、橘屋の長男として誕生す。

支部名

級

姓

号

齊藤 翡翠 流 先生

(10月10日締切)

中2用

支部名	山	紅
段級	野	葉
名前	の	

田邊玉翠先生

中3用

支部名	成	良
段級	績	好
名前	な	な

田邊玉翠先生

(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

小6用

支部名  
 段級  
 名前  
 の行  
 秋楽

朝平霞山先生

中1用

支部名  
 段級  
 名前  
 台風  
 大型の

田邊玉翠先生

(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)



小4用

支部名  
段級  
名前

か 月  
り 明

朝平霞山先生

小5用

支部名  
段級  
名前

の 体  
日 育

朝平霞山先生

(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

小2用

支部名

段級

名前

主幹 菅野 翠 濤

小3用

支部名

段級

名前

主幹 菅野 翠 濤

(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

中1

感想文をまとめる。  
教科書の本文を読んで

中2

野鳥が住めるような自然環境にしたい。

中3

急にさへ渡った空に、  
秋の星座が昇り始めた。

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

みち

中1～中3

青柳江雲先生

(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

小1・幼年

あきは、くだものがい  
っぱいあります。

小1～小3

小 2

とおくで、川の水がひ  
かっています。

齊 藤 翡 流 先生

小 3

ススキが出はじめた。  
もうすっかり秋です。

小 4

高原の風に、コスモス  
の花が大きくゆれた。

小4～小6

小 5

海辺では、雲が流れ、  
まつ林が風にさわぐ。

小 6

学生書道コンクールで  
特選をもらった。

若 月 久美子 先生

(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

虫の声  
秋は近し

主幹 菅野翠濤

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

つたの葉や  
のらずいづく秋の  
風

船久保 棠苑 先生

季語Ⅱ「蔦の葉」  
大木にからんだ蔦の葉が紅葉し、峰を吹きわたる秋風に一葉のこらず動いている、  
の意。

(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)